

我が国の水稲栽培に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 種子を湯に浸漬して消毒する温湯消毒では、約80℃の湯に20～30分浸漬するとよい。
2. 水田における栽植密度は、1 m<sup>2</sup>当たり20株程度とすることが多かったが、近年は多収を目指して30株程度まで増加する動きが全国的に広がっている。
3. 移植直後はできるだけ浅水にして活着を促し、分げつ期には深水にして分げつ発生を促す。
4. 登熟期の高温による白未熟粒の発生を回避するため、穂ぞろい期後は早めに落水し、土壤表面を乾燥状態とすることが望ましい。
5. 実肥を施用すると収量増加が期待できるが、玄米中のタンパク質含有率が高まるので食味が低下することがある。

表は、いくつかの果実を真果と偽果に分類し、それぞれの可食部を示したものである。表中のア～エに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

	可食部	果実名
	<input type="text" value="ア"/>	モモ
真果	中・内果皮, 胎座	<input type="text" value="イ"/>
	内果皮	オレンジ
	花托 (花床)	リンゴ
偽果	<input type="text" value="ウ"/>	クリ
	果軸, 花托, 小果	<input type="text" value="エ"/>

	ア	イ	ウ	エ
1. 外果皮	ブドウ	子房	イチジク	
2. 外果皮	ブルーベリー	種子	ザクロ	
3. 中果皮	ブドウ	子房	ザクロ	
4. 中果皮	ブドウ	種子	イチジク	
5. 中果皮	ブルーベリー	子房	イチジク	

植物病原体の伝染法に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. イネ萎縮ウイルスはアブラムシ類によって媒介される。
2. キュウリモザイクウイルスは線虫によって媒介される。
3. トマトかいよう病菌はウンカによって媒介される。
4. ナス科植物青枯病菌は土壌伝染する。
5. キュウリつる割病菌は空気伝染する。